

28AA-am01S

ツガシン cmc-A の合成研究

○岩崎 瞳¹, 富澤 慧¹, 高橋 圭介¹, 石原 淳¹, Jacques EUSTACHE², 畑山 範¹
(¹長崎大院医歯薬, ²オート・アルザス大ミュールーズ国立高等化学院)

【目的】ツガシン cmc-A (**1**)¹⁾ は多剤耐性を獲得した結核菌に対しても強力な呼吸鎖阻害活性を有するマクロリド抗生物質である。本天然物は平面構造が明らかになっているのみで、相対及び絶対配置は未決定である。我々は **1** の立体化学が他のツガシン類と同様であると仮定し、その立体構造の確認と合成法の確立を目的に、**1** の合成に着手した。

【方法・結果】*L*-リンゴ酸(**2**)から **3** を経てカルボン酸 **4** へと導き、*L*-システイン誘導体 **5** とのカップリングに続くチアゾール環の形成を行い、C1-C12 フラグメント **6** を合成した。一方、**7** から **8** を経てビニルヨード **9** へと導き、ボロン酸 **10** との鈴木-宮浦カップリング、プロパルギル基の導入を行い、C13-C25 フラグメント **11** を合成した。現在、フラグメント **6** 及び **11** から **1** の合成を検討中である。

